

総務文教委員会記録

令和6年8月5日（月）
9時58分～12時13分
全員協議会室

【委員】 芦谷委員長、沖田副委員長、村武委員、岡本委員、永見委員、西田委員

【議長・委員外議員】

【執行部】

（総務部） 山根総務部長、末岡総務課長、琴野防災安全課危機管理監、
猪狩人事課長、松山行財政改革推進課長、小林財政課長

（地域政策部） 田中地域政策部長、官澤定住関係人口推進課長

（教育委員会） 岡田教育長、草刈教育部長、鳥居学校教育課学力向上推進室長

（選挙管理委員会） 道山選挙管理委員会事務局長

【事務局】 松井書記

【議題】

1 執行部報告事項

- (1) 浜田市防災行政無線屋外拡声子局の移設先等の変更について 【防災安全課】
- (2) 職員の軽装による職務従事の通年実施について 【人事課】
- (3) 浜田市行財政改革実施計画（令和5年度実績・令和6年度計画）について 【行財政改革推進課】
- (4) 浜田市江津市旧有福村有財産改修費用負担金について 【行財政改革推進課】
- (5) 令和5年度健全化判断比率・資金不足比率（速報値）について 【財政課】
- (6) 新浜田PR大使 青木いつ希氏について 【定住関係人口推進課】
- (7) 令和6年度全国学力・学習状況調査結果（概要）について 【学校教育課学力向上推進室】
- (8) 投票所の変更について 【選挙管理委員会事務局】
- (9) その他

2 その他

3 議会広報広聴委員会からのお知らせ

- (1) 第4回はまだ市民一日議会の周知方法の報告とお願いについて

4 継続審査中の請願について（委員間で協議）

- (1) 請願第8号 郷土資料館の建設場所検討に関する請願について
- (2) 請願第11号 学校給食の自然塩（天然塩）使用の請願について

5 【取組課題】 地域交通について（委員間で協議）

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[9 時 58 分 開議]

○芦谷委員長

ただいまから総務文教委員会を開会する。出席委員は6名で定足数に達している。それではレジュメに沿って進める。

1 執行部報告事項

(1) 浜田市防災行政無線屋外拡声子局の移設先等の変更について

○芦谷委員長

執行部から説明をお願いします。

○危機管理監

(以下、資料を基に説明)

○芦谷委員長

委員から質疑はあるか。

○村武委員

変更前のネットヨタの敷地に移設ということであれば現在のJ Aからかなり近かったと思うが、変更後は移設距離が200メートルで、少し離れていると感じる。移設に伴って聞こえにくい所が増えるのではないかと感じているが、この近くにある防災無線の場所を教えてほしい。

○危機管理監

北側は国府まちづくりセンター、南側は卸団地のリコーの近くに一つずつある。

○村武委員

そうなると、下府町の河口のあたりが聞こえにくくなると感じる。先ほど、地元住民には防災無線だけでなくほかの情報伝達方法を周知すると言われたが、メールやLINEの登録はどのように広げていく予定なのか。

○危機管理監

おっしゃるとおり、東に寄るので西側が少し聞こえにくいことはあると思う。現在、当課で進めている次期防災システムへの更新は、防災行政無線のシステムを全部更新する作業だが、それに併せて高性能スピーカーを設置することとしている。そのスピーカーの音が届く範囲を業者にシミュレーションしてもらった結果、下府川の左岸側の家にも十分届くという結果だった。とはいえ、それができるまでには時間が掛かるため、防災防犯メールの登録やLアラートの案内などについて、9月1日に自治会長が集まる会で全員に登録していただき町内で話をしてもらおうが、町内で詳しい説明をとという要望があれば出向く。一旦登録すればずっと使えるので、なるべく多く登録してもらい、いろいろな手段で情報を入手していただきたいと考えている。

○岡本委員

市内のかなりの場所に子局が設置されている。設置されている場所は、私の想像

では借地して工作物を建てると思っているが、この辺を少し説明してもらいたい。

○危機管理監

今市内に116本あり、18本については相手方が民間の土地で、ほかは市や国や県の土地である。今回のJ Aも含めていきさつがあったのだと思うが、今後新設や移設する必要があった場合に、民間の土地だといろいろな都合が発生するかもしれないので、極力浜田市の土地、あるいは国や県の土地を使いたいと考えている。

○岡本委員

18本は民間の所有地に設置してあり、今後それがどうなるか分からないということだと思うが、所有者が変わるといった可能性があるのか。

○危機管理監

18本全てについてなかなか分からないのが実情である。何か言われたら考えなくてはいけない。今回のJ Aにもお願いしてしばらく置かせてもらっているが、個別のケースで相談していかなければいけないと考えている。

○岡本委員

この内容とは別のことを確認するが、市内の自主防災組織やまちづくり推進委員会の中で、無線が聞こえづらいという話が必ず出てくる。昔からの放送器具を使った広報が今の代につながってきていると思うし、携帯電話などの情報があるにせよ、行政が入り口としてやるべき伝達方法としてはこれが一番大事だと思うが、どうしても市民に届かない、理解できないというところに担当課として工夫が要るのではないかと考えている。天候によって聞こえないことがあるのは分かっていたとしても、これが入り口で必要なのだということを明記して、それを補完するもの、携帯電話などいろいろな方法があるわけだから、そういうところを整理した形で皆に周知して理解してもらうことが必要だと私は思うが、担当課としてどう考えているか。

○危機管理監

おっしゃるとおり、鳴っているのは分かるが内容がうまく聞き取れないという意見はいろいろな場面で聞く。ましてや大雨、大風のときに聞こえにくいのは仕方ないと考えている。これも毎回の話になるが、それを補うためにテレビに映るLアラートや、文字で届く防災防犯メール、LINEへの登録をお願いしているが、高齢の方はなかなかすぐに移すのは難しいため、スピーカーによる一斉の広報が当面は必要ではないかと思う。聞こえないにしても鳴っていることが分かればテレビで確認するといった対応もできるので、無線は当面運用していく必要がある。また、無線だけ、メールだけではなく、組み合わせて災害情報を入手してもらえようように今後もやっていきたい。

○芦谷委員長

ほかに意見はあるか。

(「なし」という声あり)

(2) 職員の軽装による職務従事の通年実施について

○芦谷委員長

執行部から説明をお願いします。

○人事課長

(以下、資料を基に説明)

○芦谷委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(3) 浜田市行財政改革実施計画（令和5年度実績・令和6年度計画）について

○芦谷委員長

執行部から説明をお願いします。

○行財政改革推進課長

(以下、資料を基に説明)

○芦谷委員長

委員から質疑はあるか。

○沖田副委員長

計画の中に人材育成という項目がある。自治体の人員が減って業務量が増えてくる中でDX化を図って効率化を進めるというのは計画にもうたわれている。そうなる、ITに強い人材を育成していくべきではないかという気がするが、この計画にはそれがどう反映されているか。

○行財政改革推進課長

具体的な外部人材の育成についてはそこまで触れていないが、確かにおっしゃるとおり専門性がかなり高い項目なので、人材育成は非常に重要になってくると思う。その辺については人事課との協議にもなってくるが、人事異動なりで検討していく必要があると現時点では思っている。

○総務部長

人材育成の基本方針だが、現在見直しを予定している。昨年末に国の人材育成の基本方針が見直されたが、その中で、国に合わせた形で各自治体も見直しをするようにという通知が来ている。国の項目の中には、委員がおっしゃるとおりIT人材にも言及されているので、そういったところも織り込んでいくような形になると考えている。

○沖田副委員長

特にこれから市職員の試験を受けられる若い人は、デジタルに強い環境で育ってきた世代が今後増えてくると思うので、そこをぜひ推進してほしい。

それと、この計画の中に、例えば申請や報告のDX化も進めていくということで、部署にもよるのだろうが、特にまちづくり総合交付金の年度初めの計画書と報告書が、団体数も増えてきてかなりの量になる。ここのデジタル化をある程度進めて効率化を

図るべきだと思う。というのも、まちづくり組織側も負担だし、職員側も明らかに負担になっていると思っている。地縁組織や地縁団体等とのやり取りもDX化を進めていってほしいと考えるが、担当課はどのような見解でいるか。

○地域政策部長

特に総合交付金の計画書や報告書だけということではないが、当然自治体DXの中には申請や報告といったもののデジタル化、ペーパーレス化なども入ってくると思う。総合交付金の実際のところを言うと、単純に書類を提出するだけではなく、大体は書類を持って来られて窓口でいろいろ相談しながら作っていく。そうしたところも含めて今後改善していくべきものと思っているし、毎年見直しを図っていきたい。

○沖田副委員長

団体によってはメールで送ったりUSBや紙で持って来て、窓口で訂正したりとか、そういった意味で効率化が図られていることは認める。ただ、時代はすごく進化していて、kintoneといったクラウド保存してその都度訂正できるものもある。周辺の自治体でも導入を検討しているところもあるので、参考事例にして来年度以降に導入してもらえばうれしい。いろいろなシステムがどんどん出てきているので、ぜひ前向きに検討してもらいたい。

○芦谷委員長

ほかに意見はあるか。

(「なし」という声あり)

(4) 浜田市江津市旧有福村有財産改修費用負担金について

○芦谷委員長

執行部から説明をお願いします。

○行財政改革推進課長

(以下、資料を基に説明)

○芦谷委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(5) 令和5年度健全化判断比率・資金不足比率（速報値）について

○芦谷委員長

執行部から説明をお願いします。

○財政課長

(以下、資料を基に説明)

○芦谷委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(6) 新浜田PR大使 青木いつ希氏について

○芦谷委員長

執行部から説明をお願いします。

○定住関係人口推進課長

(以下、資料を基に説明)

○芦谷委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(7) 令和6年度全国学力・学習状況調査結果（概要）について

○芦谷委員長

執行部から説明をお願いします。

○学力向上推進室長

(以下、資料を基に説明)

○芦谷委員長

委員から質疑はあるか。

○村武委員

私はこの全国学力調査だけを見て子どもたちの学力を判断したくないと考えているが、このように結果が出ていることを踏まえて伺いたい。私が気になったのが11ページの児童生徒質問調査の「国語の勉強は好きですか」という調査結果である。小学6年生が、令和5年度から比べて61.2%から48.9%と大幅に数字が下がっている。日頃から国語が苦手だという子どもや保護者の話を聞くことも多いが、国語に関してどのように考えているか。

○学力向上推進室長

我々が学校訪問に行くときに、国語も研究授業として公開されるが、特に若い先生方から、文学的な教材、いわゆる物語の教材はどう授業を組んでいけば良いか分からないという声をよく聞く。教科書会社が出している赤い文字が入った教師用の教科書があり、それに従って授業を進めざるを得ないので、詳細に一つ一つ押さえていって、児童生徒がそんなことは分かっているというところまでやらなくてはいけない授業になっている。そのあたりに課題があるのかなと思っている。

現在、パワーポイントで今後の対策等の説明を作っているが、国語の文学的教材については、まずは読んだ後にどのようなことを勉強すれば良いのか、どのようなことが不思議だったのかを出し合って、子どもたちが学習課題を決めて、その中で学習課題ごとに勉強を進めていくような授業の改善をお願いしているところである。細かいところまで読んでいくような、詳細な読みの授業が、子どもたちの興味関心を落としているのだろうと捉えている。

○村武委員

よろしくをお願いします。それから13ページの「授業でのPC・タブレット端末など

のICT機器活用について」だが、活用の肯定率が前回の調査に比べてかなり下がっているように思う。ICT機器を活用した授業を進めていくための学校体制づくりが必要であると書いてあるが、もう少し具体的に、どのような学校体制づくりが必要なのか伺いたい。

○学力向上推進室長

小学校は昨年は県を上回っており、非常に順調かなと思っていたが、今年度は下がっている。中学校は昨年度は通信状況が悪く、なかなか活用に至らなかったが、今年は改善しているので少しポイントが上がっている。

問題だと思ったのは、校長先生方が評価する学校質問調査のところで、校長先生たちは割と活用していると回答しているのに、子どもたちはこの結果である。学級によってはほぼ毎日使っている、1日の中でも活用している割合が多い学級もあれば、そうでない学級もあり、先生あるいは学級によって取組の程度が違うのが一番の課題だと思っている。校長先生方は全体を見て、活用していると錯覚しているのではないかと私は思っている。その意識をまず変えてもらうことと、授業改善プランは毎年出しているが、今年度はその中のトップに、タブレット端末を活用した授業実践を入れている。研修会等は参加者が昨年度よりも多くなっている。これからしっかり検証を進め、各学校への支援もしていきたい。今、指定校を1校置いているが、その授業実践などを広げていくといったことも考えていかななくてはいけない。

○村武委員

校長先生と児童生徒の差があると私も感じたので、校長先生にも理解を深めて現状を把握してもらいたい。先生方は日々忙しい中、こうして課題がたくさんあり、それを進めていかなければならないので大変だとは思いますが、ぜひ進めてもらいたい。

もう1点聞きたい。14ページの「『対話的で深い学び』への取組及び『要約学習』の推進」という項目だが、私は要約学習は非常に良いと感じている。今年度実際に進めているなら、どのような児童生徒の感想や手ごたえがあるのか教えてもらいたい。

○学力向上推進室長

今指定校を1校置いており、読解力の指定校ではないが図書館活用教育の手法として要約学習を取り入れている学校が2校ある。合わせて3校が指定校の中で要約学習に取り組んでいる。4月から5月に掛けてこれを提唱している烏田先生に指定校3校へ来てもらって実際に授業をしていただいた。広報したのでそこにかかなりの教員が参加し、良い実践だということは先生方もだんだん承知している。先ほど言った図書館活用教育の中でやっている学校は去年もこの要約学習をやっていたが、子どもたちが社会科見学などに行ったときに、要約学習で見つけたキーワードを抜き出し、キーワード同士を線で結ぶという方法が非常に便利だという子どもの声を聞いている。子どもたちもこの手法は使えるというような感覚を持っているのではないかと思う。

○西田委員

私の個人的な思いだが、学力というのは人間総合力の中の、この時期のごく一部だと私は認識している。学力テストの正答率が平均より高い低いということも確かに

数値的には大事かもしれないが、総合的な人間形成の中の、その時期に養われなくてはならないものがしっかりと養われることが大事だと思っている。

これとは別の子どもへのアンケートの中で、人間は死んでからまたすぐ生き返るか生まれ変わると思うかという問いに、私の記憶は定かではないが、20%程度の子どもたちが、人は死んでもすぐ生まれ変わるという認識を持っていると回答しているのを見て驚いた。生まれ変わると思っている子がそれだけいることがショックだった。学力テストは学力テストで本当にいろいろな方が努力して、少しでも学力を上げていくことが大事だと思うが、片や、人は死んでもまたリセットされるのだという感覚の子どもが一人でもいてはいけないように私は思うのだが、そのことに関してはどう感じるか。

○学力向上推進室長

個人的な見解にもなるので答えるのは非常に難しいが、一つはゲームなどの影響がかなり色濃く出ているのかなと思っている。人権教育や性に関する指導で、人の命はかけがえのないものであるということを学び、あるいは道徳で思いやりや生命尊重などを扱っていくが、その辺をしっかりと大切にしていかななくてはならないと率直に思っている。

昨年度の県学力調査のときにもお答えしたような気がするが、学力というのは点数ももちろん大切だが、そこを支えているのは子どもの内面にある部分だと思っている。先週の月曜に文部科学省が全国の傾向を出してきた。質問調査や正答率などをクロス集計した結果、主体的対話ができて深い学びをしていく、そのように肯定的に捉えている子どもほど、自分には良いところがあると答えているという報告があった。授業の中で子どもを育てていくことを大切にしていかななくてはならないと思っている。

○芦谷委員長

ほかに質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(8) 投票所の変更について

○芦谷委員長

執行部から説明をお願いします。

○選挙管理委員会事務局長

(以下、資料を基に説明)

○芦谷委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(9) その他

○芦谷委員長

その他、執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

それではここで、8月19日の全員協議会に提出して説明すべきものを決定したい。
まず執行部の意向を確認したい。

○総務課長

(3)の1件を全員協議会に提出し説明させていただきたい。

○芦谷委員長

執行部の意向のとおりでよろしいか、

(「異議なし」という声あり)

それでは以上のように決定されたのでよろしく願います。

2 その他

○芦谷委員長

その他として、執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から、執行部に何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、ここで執行部は退席されて構わない。

(執行部退席)

3 議会広報広聴委員会からのお知らせ

(1) 第4回はまだ市民一日議会の周知方法の報告とお願いについて

○芦谷委員長

議会広報広聴委員から説明をお願いします。

○村武委員

第4回はまだ市民一日議会について、6月10日に開催した議会広報広聴委員会で今年度も実施することを決定し、皆にLINE WORKSでお知らせした。皆には周知として、チラシ設置やポスター掲示をお願いしたい。事務局が設置や掲示を依頼する公共施設等は資料に書いてあるので、それ以外に依頼できるのであれば願います。また、市民への参加の声掛けなどもお願いしたい。ただし、応募しても必ず発言できるかどうかは決まっていない。定員が設けてあり、定員以上になればくじ引きになることを必ず申し添えてもらいたい。チラシ20枚、ポスター2枚を各議員に用意している。追加が必要であれば議会事務局に申し出てもらいたい。

○芦谷委員長

この件について何かあるか。

(「なし」という声あり)

では、ここで暫時休憩する。

[11 時 07 分 休憩]

[12 時 05 分 再開]

4 継続審査中の請願について（委員間で協議）

(1) 請願第8号 郷土資料館の建設場所検討に関する請願について

○芦谷委員長

これについて、皆の意見をお願いします。

○沖田副委員長

この請願は2回目の継続審査となったが、継続理由は、執行部から郷土資料館の方針が示されないということだった。とはいえ、計画があろうがなかろうが願意は願意として受け止めて、そろそろ結論を出しても良いのかなとは思う。ただ、これはあくまで委員それぞれの考え方があると思うので、次の委員会で継続審査も含めた審査を行うのが良いと思う。

○芦谷委員長

この件については次の委員会で判断するとの意見が出たが、ほかに意見はあるか。

(「なし」という声あり)

ではそのように取り計らう。

(2) 請願第11号 学校給食の自然塩（天然塩）使用の請願について

○芦谷委員長

委員から意見をお願いします。

○沖田副委員長

6月定例会議の本会議で継続審査を求める動議が提出され、可決された。出された内容は、この願意にある精製塩のくだり、精製塩ではなく天然塩という部分で疑問が残るということだった。まず、願意で言われる天然塩というものが、体に良いというのはそうなのだろうが、何をもって良いのかが全く分からないまま前回の委員会で諮った経緯がある。そこはもう一度改めて成分などを議論し直す必要があると思う。

紹介議員の村武委員に聞きたいのだが、請願者が言われる天然塩というものは何を指しているのか、分かる範囲で結構なので示してもらいたい。

○村武委員

請願者が考えておられる天然塩は、精製塩には含まれていないカリウム、マグネシウム、カルシウムなどのミネラル分が多く含まれている塩を望まれている。

○沖田副委員長

そういったものが多く含まれているということだが、こちらは栄養分がある、こちらは栄養分がないと言われてもなかなか判断が難しい。今学校給食で使っている塩の成分と請願者が言われる天然塩の成分を明らかにしないことには、再審査をするに

当たっても判断が付かないように思う。

○芦谷委員長

それは現場の話なので、成分について執行部に問い合わせさせて説明を求めるということでよろしいか。

○村武委員

現在学校給食で使われている塩に関して、成分表などは確認をする必要があると思う。それと併せて、請願者の願意について、いま一度私が確認させてもらいたい。現在使われているものではなく、もう少しこういったものが必要なのではないかといいところがあれば、そこを確認させてもらいたい。

○芦谷委員長

ほかに意見はあるか。

(「なし」という声あり)

では今論点が出たので、それらをもう一度整理し直して、執行部に必要な説明を求めながら、次回の委員会で決定したいと思うが、それでよろしいか。

(「はい」という声あり)

次の委員会の日程については、検討してお知らせする。

5 【取組課題】地域交通について（委員間で協議）

○芦谷委員長

これについては、一部には少し歩みが遅いとの指摘もあったが、先般の地域井戸端会での意見交換の結果を私なりにメモでまとめたものがあるので、それを見てもらいたい。地域井戸端会で各委員がまとめた項目もあるので、委員長メモを現状ということで整理し、必要なことがあればまた言ってもらい、現状と課題を整理した後に今後の提言の柱といったものをまとめていければと思う。

したがって、今までの資料を見てもらい、現状と課題について各委員が腹入れした後、それを踏まえて提言の柱なり改革の方向性について次に議論したいと思うのでよろしく願います。以上でよろしいか。

(「はい」という声あり)

では、以上で総務文教委員会を終了する。

[12 時 13 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員会委員長 芦谷 英夫